

# みなさんの生命、身体、 財産を守って40年

## 第2回 南越消防組合の歴史―災害対応―

【火災】消防年報によれば、管内全体における火災件数の最多は50件(昭和54年)、最少は21件(平成14年)です。合併前の旧南条町の最多は4件(平成8年)、旧今庄町は7件(昭和49年と平成13年)、旧河野村は5件(平成6年)、合併後の最多は7件(平成18年)となっています。最近では、町民の皆さんの熱心な防火への取り組みにより、大きな火災には至っていません。

消防組合では、多様化する火災に的確に対応するため、119番受信体制の充実や最新消防装備の導入、訓練などに取り組んでいます。

【救急】管内全体における救急出動は、消防組合設立の昭和45年は502件、その後、毎年100件ほど増加し、昭和51年には1,158件、平成12年には2,086件にまで上昇、平成17年は過去最高の2,704件を記録しました。しかし、平成19年からは、皆さんの適正利用により、2,500件台で推移しています。

消防組合では、高規格救急自動車の整備や救急救命士を養成して救急体制の充実を図り、救命率の向上に取り組んでいます。

【大きな災害】消防組合は、火災や救急の出動だけでなく大きな災害に対しても生命、身体、財産を守る活動に取り組んできました。

昭和47年11月6日に発生した北陸トンネル内列車火災事故では、消防組合が保有する人員・車両等を総動員し、関係機関が総力をあげて救助・救急、消火などを行いました。昭和56年の豪雪では、交通網が麻痺するなど生活や経済活

動に甚大な被害を受ける中、火災や救急の出動に大変苦慮しました。平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、神戸市内に応援出動(3小隊延べ25名)し、消火や救助の活動にあたりました。平成16年7月の福井豪雨では救助・水防活動を、平成18年7月の豪雨では水防活動を実施するなど、様々な災害現場で消防活動に取り組んでいます。

近年、消防の役割は拡大し、国民保護の分野でも、地域住民の救出・救護および警報、避難の指示の伝達、避難活動が任務とされ、ますます重要なものとなってきました。消防組合は、安全・安心のための消防力の強化と向上に取り組み、災害に強い強靱な組織を目指して、日々、訓練などを重ね、研さんに励んでいます。

## 南越前町男女共同参画都市宣言記念式典

南越前町は「助け合う優しい男と女のまち」を目指し、男女共同参画社会の実現に向け、「男女共同参画都市」を宣言します。

日時 11月13日(土) 午後1時～午後4時

場所 南条文化会館

内容

- オープニングアトラクション  
入賞川柳・絵画の紹介
- 式典・表彰式・宣言文群読・内閣府からの報告
- 記念講演 講師 吉永 みち子 氏

日本初の女性競馬新聞記者。現在は、ノンフィクション作家として活躍中。

演題 「自分らしく生きるために」

★今庄・河野地区は無料送迎バスを運行します。

■問合せ 教育委員会 ☎47-3810

あなたも  
記者に!!

# まちの広報紙 作ってみよう! 参加団体募集

皆さんの目線で自由に広報紙をつくってみませんか? 『広報 南えちぜん』の紙面づくりをしていただける団体を募集します。取材や原稿作成を行い、まちの広報紙に皆さん独自の紙面を掲載しましょう!!

### 募集対象

町内の集落、壮年会・子ども会等各種団体、学校、友人グループ等の団体

◎団体を構成する方の半数以上が町民であり、かつ広報紙を作成する方の半数以上も町民であることとします。個人での応募はできません。

### 掲載内容

原則、自由とします(地域の行事や話題、伝統文化、団体の紹介・活動の様子など)。ただし、町内の話題や町内での活動など南越前町に関する内容であることとします。

◎営利目的や政治・宗教活動などまちの広報紙に合わないと思われる内容は不可とします。

### 作成内容

作成ページ数は、『広報 南えちぜん』の紙面1〜2ページとします。

◎皆さんが企画、取材、原稿書き、写真撮影、レイアウト等を行い、町の担当者は作成のお手伝いをします。作成期間は1〜2カ月とし、作成打合せ会を数回実施します。

### 掲載

『広報 南えちぜん』2月号(平成23年1月25日発行)を予定しています。

### 応募方法

◎応募用紙に必要事項を記入し、提出してください。◎応募用紙のみでの選考となりますので、できるだけ詳しく記入してください。

### 応募締切

10月29日(金)

### 選考

◎応募用紙の記載内容をもとに選考します。

※詳しくは、企画財政課へ問合せください。

■応募先・問合せ 企画財政課 ☎47-8013